

令和5年度 第2回羽島市生涯学習都市推進会議 次第

日 時 令和6年2月2日(金) 10時～
場 所 羽島市役所3階 301会議室

1 会長あいさつ

2 意見交換

「羽島市生涯学習都市づくり5カ年計画」に基づく
令和5年度の進捗状況について

令和5年度羽島市生涯学習都市推進会議委員名簿

役職名	氏名	委員	備考
会長	松井 聡		市長
委員	前田 京子	1号	女性団体代表
	坂田 田壽子	1号	社会教育委員代表
	岩田 清顕	1号	PTA 連合会代表
	山田 光子	1号	老人クラブ代表
	小森 博昭	1号	スポーツ推進会議代表
	森山 健	2号	小中学校代表
	下野 宗紀	2号	高等学校代表
	大野木 真	3号	自治委員会代表
	益川 浩一	4号	学識経験者(岐阜大学教授)
	近藤 かよ子	4号	学識経験者(元教育委員)
	小林 美雪	4号	学識経験者(元小学校長)
	石黒 恒雄	5号	副市長
	森 嘉長	5号	教育長
	三輪 弘司	5号	健福祉社部長
	横山 郁代	5号	健福祉社部子育て担当部長
	加藤 光彦	5号	産業振興部長
	小川 剛矢	6号	障がい者支援団体代表
	加藤 悦子	6号	公募委員
	田谷 由紀子	6号	公募委員

(順不同・敬称略)

委嘱期間 令和7年3月31日まで

羽島市生涯学習都市づくり5カ年計画 に基づく

令和5年度の主な取り組み

計画に位置付ける事業

子育て世代への利用者支援事業

家庭教育学級の実施・充実

令和5年度の取り組み

伴走型相談支援と経済的支援

子育て世代包括支援センター 子育て相談センター羽っぴい (画像)では妊娠届出時より妊婦さんやご家庭に寄り添い、面談を通して支援につなぐ伴走型の相談支援を実施。さらに関係機関との連携や、妊娠・出産・子育て情報サイト イクナビ での情報提供を行いました。



妊娠届出時と産後の赤ちゃん訪問時に面談を行い、申請に応じて応援ギフトを給付しています。妊娠・子育て関連の商品やサービス等をカタログから選択する ぎふっこギフト (画像)を取り入れました。



給付件数・・・出産応援ギフト378件 子育て応援ギフト323件 (令和5年12月末)

伴走型相談支援・経済的支援を一体とすることで、ニーズに即した支援や負担軽減を充実させていきます。

1 家庭

2 青少年

3 地域に
おける学び

4 生涯
スポーツ

5 文化

6 その他支援

計画に位置付ける事業

子育て世代への利用者支援事業

家庭教育学級の実施・充実

令和5年度の取り組み

魅力ある家庭教育学級の取り組み

西部幼稚園と市内小中学校、義務教育学校では、PTA等と連携し、メディアコントロール、防災、地域文化など多彩なテーマで家庭教育学級を開催しました。(画像)

講演会やレクリエーション形式、在宅型など、多様な形態を取り入れることで、多くの保護者や児童生徒に対して学習機会を設けました。

桑原学園では「授業参観「親子で学ぼうDAY2023」」と題し、各学年に合わせた学びを企画。1～4年生はサイエンスショーで液体窒素の実験等から科学を、5～9年生は講師を招き情報モラルを、それぞれ親子で共に学びました。



1 家庭

2 青少年

3 地域に
おける学び

4 生涯
スポーツ

5 文化

6 その他支援

計画に位置付ける事業

男女共同参画社会の実現

多文化共生社会への理解

教育相談の充実

体験活動の充実

地域活動への参画

令和5年度の取り組み

不登校児童生徒への段階的支援

全国的に増加している不登校や不登校傾向の児童生徒への対応を強化するため、小熊小学校内に市内2施設目となる 適応指導教室のぞみ を開設しました。校内設置による学校環境の活用や小集団活動で学校復帰への足掛かりをつくりました。

不登校をきっかけとしたひきこもりの支援として、社会的なつながりを目的としたメタバース Room HIKARI (ルームヒカリ) を実施。仮想空間を活用して、学校職員や相談員との関係構築を行いました。ニーズ対応を柔軟化させ個に応じた段階的な支援を図ることで、学校復帰や社会的自立を支えています。

不登校の市内児童生徒数 170人 適応指導教室利用者数 こだま29人 のぞみ18人
Room-HIKARI 利用者数 3人 (令和5年12月末)



1 家庭

2 青少年

3 地域に
おける学び

4 生涯
スポーツ

5 文化

6 その他支援

計画に位置付ける事業

男女共同参画社会の実現

教育相談の充実

地域活動への参画

多文化共生社会への理解

体験活動の充実

令和5年度の取り組み

イベントを活用した親和的な国際交流

11月11・12日に開催された ぎふ羽島駅前フェス にて、国際交流ブースを出店。フェスに訪れる多くの家族連れを対象に、楽しみながら異文化に触れ、多文化共生社会を実感する機会を創出しました。(画像 ・)

東京2020オリンピックの際にホストタウンとして結んだ縁をもとに、スリランカ出身者の協力のもと 伝統衣装の着付け体験 や 特産品の紅茶試飲 のほか、オリンピック開会式でスリランカ選手が着用した衣装の展示などを行いました。

着付け体験 約45人 紅茶の提供数 約570杯

イベントや市内小中学校との連携により、多文化共生社会の実現に向けた周知活動を進めていきます。

(画像)



(画像)



1 家庭

2 青少年

3 地域に
おける学び

4 生涯
スポーツ

5 文化

6 その他支援

計画に位置付ける事業

男女共同参画社会の実現

教育相談の充実

地域活動への参画

多文化共生社会への理解

体験活動の充実

令和5年度の取り組み

地域と連携した放課後子ども教室の実施

放課後に様々な体験や活動を行う 放課後子ども教室 を市内全ての小学校9校において実施。9校を前期と後期に分けて、それぞれ約11回の日程で活動しました。

お囃子や美濃縞、雨乞い踊りなどの地域伝統文化の体験、軽スポーツや工作、防災といった多様な活動を行いました。また、地域の協力を得て、桑原音頭や昔遊びなど新規の講師による活動を新たに取り入れました。(画像)

参加児童総数103人 足近小13人 小熊小7人 正木小15人 竹鼻小13人 中央小10人
福寿小16人 堀津小8人 中島小16人 桑原学園前期課程5人



(画像)



(画像)

1 家庭

2 青少年

3 地域に
おける学び

4 生涯
スポーツ

5 文化

6 その他支援

計画に位置付ける事業

各種講座の開設・支援

地域人材を活用した学習機会の提供

まちづくり活動への支援

令和5年度の取り組み

多様な講座実施による市民ニーズへの対応

公的機関から講師を招く 学事始(まなびことはじめ) を開催。9月には相続税・贈与税の話に合わせ羽島市エンディングノートを配布、1月には中学生以上を対象に脱炭素社会について開催しました。(画像)

受講者数・・・学んで備える「相続税・贈与税」38人 サステナブルな社会へのロードマップ10人

健康分野では、介護、認知症予防の教室や健康増進講座を実施しました。

参加者数・・・いきいき体操教室 4,311人 おたっしゃ教室 151人 シニアカレッジ 109人 はつらつ元気教室 38人 脳の健康教室 160人 (65歳以上対象 令和5年12月1日時点)

市職員が講師となり市政や身近な問題について話す 出前講座 では、新メニューの はしま電子図書館入門 などを加えた76テーマで地域サロン会や小中学校などで活用されています。また、一部講座を市公式YouTubeにて公開予定です。



1 家庭

2 青少年

3 地域に
おける学び

4 生涯
スポーツ

5 文化

6 その他支援

計画に位置付ける事業

各種講座の開設・支援

地域人材を活用した学習機会の提供

まちづくり活動への支援

令和5年度の取り組み

学びを通じた防災意識の高揚

市防災基本条例策定に向け、各コミュニティセンターを会場に 災害対策を「じぶんごと」にするために ワークショップを開催。地域性を生かした防災知識の醸成に努めました。出前講座ではメニューを 防災じぶんごとワークショップ にリニューアル。自治会・サロン・小中高校など多くの場で開催しました。(画像)

家庭内DIGやグループワークを取り入れ学ぶことで、課題の喫緊性を感じ、参加者同士が自助・共助による防災・減災への理解を共有する機会となりました。

開催回数・受講者数(令和5年12月末)

・災害対策を「じぶんごと」にするために	35回	1,841人	
・出前講座 防災じぶんごとワークショップ	19回	1,067人	1月以降も実施予定あり

(画像)



(画像)

1 家庭

2 青少年

3 地域に
おける学び

4 生涯
スポーツ

5 文化

6 その他支援

計画に位置付ける事業

各種講座の開設・支援

まちづくり活動への支援

地域人材を活用した学習機会の提供

令和5年度の取り組み

はしまシティカレッジの実施

学習成果や身に付けた技術・知識等を活かし講師となり、地域に学びを広げる場を提供する制度 はしまシティカレッジ を実施しました。

- (1)講師養成講座:講座づくりのノウハウを学ぶ(画像)→審査にて認定講師を決定
- (2)シティカレッジ講座:認定講師が実施(各講師2回)
- (3)フォローアップ講座:(2)の振り返りや今後の地域活動に向けて学ぶ



はしまdeマルシェにおいて、過年度の認定講師による講座体験ブースを出店しました。講師活動の場の創出と、様々な年齢の来場者に対して、学びの楽しさを伝えるとともに制度周知に努めました。

受講者数・・・講師養成講座 15名 シティカレッジ講座 55名 フォローアップ講座 認定講師4名

1 家庭

2 青少年

3 地域に
おける学び

4 生涯
スポーツ

5 文化

6 その他支援

計画に位置付ける事業

総合型スポーツクラブ支援事業

各種スポーツイベントへの支援

スポーツ施設の整備

トップアスリート育成支援事業

パラスポーツ推進

令和5年度の取り組み

専門講師と連携したパラスポーツ推進

羽島市スポーツ教室では、特別支援学校や支援学級に在籍する児童生徒及びその家族を対象に フライングディスク教室 を開催。フライングディスクはプラスチック製の円盤を投げる全国障害者スポーツ大会の正式種目であり、簡単で、様々な障がいのある人が一緒にプレーできることが特徴です。教室では正確に金属の輪を通せるかを競う アキュラシー を行いました。(画像)



講師には、障害者フライングディスク公認指導者や全国大会で活躍する選手や監督を招き、トップアスリートの直接指導のもと参加者26人が体験しました。



2月4日には、福祉課と協力し羽島市ボッチャ大会の開催を予定しています。

1 家庭

2 青少年

3 地域に
おける学び

4 生涯
スポーツ

5 文化

6 その他支援

計画に位置付ける事業

総合型スポーツクラブ支援事業

各種スポーツイベントへの支援

スポーツ施設の整備

トップアスリート育成支援事業

障がい者スポーツ推進

令和5年度の取り組み

トップアスリート支援とプロ選手による競技体験

特別強化指定選手1名、強化指定選手2名、強化指定団体2チームを強化指定に認定しました。強化指定選手に認定している 齊藤史弥選手 はパリ2024オリンピック出場が内定しています。(画像)



トップアスリート育成支援事業として、岐阜県初のプロバスケットボールチームである 岐阜スーパース による バスケットボール教室 を開催。バスケットの基本動作からミニゲームまで、レベルに合わせた指導を行いました。(画像)



トップアスリートや競技団体との協力・連携を通して、多様な競技の普及と、障がいの有無等の隔たりなくスポーツに取り組むことができる環境の整備を図ります。

1 家庭

2 青少年

3 地域に
おける学び

4 生涯
スポーツ

5 文化

6 その他支援

計画に位置付ける事業

市民の文化活動及び交流の促進と環境整備

文化・芸術とふれあう機会の提供

芸術文化の振興

地域の文化財等の保護・継承及び活用

令和5年度の取り組み

不二竹鼻町屋ギャラリーにおける展覧会の実施

所蔵品展と企画展、こども向けの制作ワークショップを中心とするイベントを実施。学芸員ガイドや制作体験を取り入れ、年齢問わず芸術に親しむ機会を創出しました。

[所蔵品展]

画家たちの1950年代(令和5年4月15日～6月4日) 来館者 417人

山へのまなざし(令和6年1月20日～3月3日)

[企画展](画像)

一瞬のリアルを描く - 上田薫の世界 - (令和5年10月7日～11月26日)

来館者 804人

[こども向けイベント](画像)

はしま こどもびじゅつかん(令和5年7月22日～8月4日) 来館者 276人

(画像)



(画像)



1 家庭

2 青少年

3 地域に
おける学び

4 生涯
スポーツ

5 文化

6 その他支援

計画に位置付ける事業

市民の文化活動及び交流の促進と環境整備

文化・芸術とふれあう機会の提供

芸術文化の振興

地域の文化財等の保護・継承及び活用

令和5年度の取り組み

市の花美濃菊の普及・絶滅危惧種イタセンパラの保護

はしまdeマルシェに合わせて 羽島美濃菊展 を開催。411作品と美濃菊をあしらった菊人形を展示しました。また、JR岐阜羽島駅やぎふ羽島駅前フェスでも鑑賞の場を設けたほか、個人や公立学校・各種団体等への苗の無料配布、栽培講習会の実施を通し、広く市の花「美濃菊」の普及・保存に努めました。(画像)

美濃菊展来場者 1,200人 無料苗配布数 1,300本(121人、18団体)



国土交通省、環境省協力のもと、生物多様性や希少生物の保護についての意識を高める イタセンパラ塾 を開催。木曽川の石田の猿尾を会場に、木曽川の歴史からイタセンパラの生態や保護活動の現状を学びました。また、魚類調査、水質調査といった体験学習も取り入れました。(画像)

参加者 27人



1 家庭

2 青少年

3 地域に
おける学び

4 生涯
スポーツ

5 文化

6 その他支援

計画に位置付ける事業

情報提供の充実と整備

専門機関等との連携

各種関係団体との連携

地域活動への支援

等しく安心して学ぶことができるための支援・配慮

令和5年度の取り組み

タブレット活用による電子図書の普及

令和4年3月からスタートしたデジタル版図書の貸し出しサービスである はしま電子図書館 では、利用環境の整備や読み放題パックの導入等、幅広く利便的な活用を促す体制を整えました。(画像)

実証実験を経て、6月から市内小中学校配布のタブレットでの はしま電子図書館 の利用を開始。児童生徒の利用者が大幅に増加しました。(画像)

市内児童生徒用アカウントの電子図書館利用状況 (令和5年4月～11月末)
貸出冊数 52,696冊 のべ利用者数 24,664人

読書を通じた学びの深化に向けて、電子図書館の周知やサービスの向上等環境整備に努めます。



(画像)

1 家庭

2 青少年

3 地域に
おける学び

4 生涯
スポーツ

5 文化

6 その他支援

計画に位置付ける事業

情報提供の充実と整備

専門機関等との連携

各種関係団体との連携

地域活動への支援

等しく安心して学ぶことができるための支援・配慮

令和5年度の取り組み

地域団体との連携による学びの支援

市と市民団体である防災研究会が連携し、小中高校の防災授業の開催を支援しました。ワークショップ運営方法や防災授業のポイント等をまとめたシートを作成。また、防災研究会から資機材の貸出等を行いました。(画像)



放課後子ども教室では、雨乞い踊り保存会、グラウンドゴルフ協会と連携し地域文化や新しいレクリエーションに触れ合う機会の創出を図りました。

手話通訳者等の派遣により、講演会や行事開催における、意思疎通支援の確保をしています。障がいの有無に関わらず、学び経験する機会の確保に努めています。(画像)



羽島市生涯学習都市づくり5カ年計画目標指標

資料2

目標指標名	基準値 (基準時点)	現状値 (令和5年度)	目標値 (令和6年度)	担当課
家庭教育学級の参加率	66.60% (平成30年度)	84.67%	70.00%	学校教育課
コミュニティ・スクールの理解度	30.00% (令和元年度)	58.58%	60.00%	学校教育課
出前講座の実施数	82回 (平成30年度)	59回	93回	生涯学習課
総合型地域スポーツクラブに加入している人数	1,471人 (平成31年3月31日)	1,577人	1,950人	スポーツ推進課
健康増進等教室参加者数	1,306人 (平成30年度)	906人	1,500人	子育て・健幸課
美術展(一般の部・少年の部)への来場者数	5,613人 (平成30年度)	一般の部：816人 少年の部：開催中	6,161人	生涯学習課
美濃菊展出展者数	個人38人 団体25団体 (平成30年度)	個人20人 団体16団体	個人41人 団体27団体	農政課
市公式LINE登録者数	- (平成31年4月1日)	9,015人	3,400人	秘書広報課
市民一人当たりの図書館資料貸出数	3.85冊 (平成30年度)	4.86冊	4.15冊	図書館
市民活動団体登録数	7団体 (平成31年4月1日)	15団体	12団体	市民協働課

「家庭教育学級の参加率」「コミュニティスクールの理解度」は年度末集計のため令和4年度値となります
令和5年度現状値は、令和5年12月1日時点のものです（総合型スポーツクラブ加入数は6月時点）